

阿武町50周年記念・
新シリーズ
(全30回予定)

集落「再発見」
ふるさと

探訪!

河内・久瀬原
55地区

その① 河内・久瀬原



阿武町は、昭和30年の3地区(旧奈古町、福賀村、宇田郷村)合併以来、今年で50年が経過しました。しかし、今でもよその地区には行ったことがない、名所を知らないという方も多いようです。そこで、今月から町内の各地区(行政部落)の位置や特徴、名所などをシリーズで紹介していきます。これを機にそれぞれの地区を探訪し、自分たちの住む「ふるさとの良さ」を再発見してみませんか。

地区自慢



河内駐在員
小野伊佐夫さん

一番の自慢は人
協力的で
強い団結力

河内の自慢は人です。皆さん協力的で意地悪な人もいない。また、団結して頑張ろうという雰囲気も強いと思います。あと、県道の峠から見える奈古の夕景が絶景ですネ。



河内一番の名所 五社神社

河内(こうち)地区は、奈古の東部に位置し、福賀に隣接。居住区は郷川と県道益田阿武線に沿うように細長く形成されています。山や川などの豊かな自然に加え、上・下水道や益田阿武線の道路工事も完成し、環境の良さでは阿武町一と言声も。河内の真ん中で「小野さん

河内 (Kouchi)

町一の環境の良さ

人口	76人
世帯数	32戸 (平成17年3月末現在・住基)
名所等	五社神社
有名人	故・小野博盛氏 (初代阿武町長)
特徴	小野さんが多い



河内の風景

「ん」とたつければ、みんなが振り向くほど、小野さんという一つの名字が多い(約8割)のも河内地区の特徴です。

地区自慢



水もきれいで
ホタルが
いっぱい!

久瀬原駐在員
問田保夫さんの
奥さん典枝さん

久瀬原の自慢は、静かで空気や川の水がきれいなところですね。ホタルもいっぱいいますよ。世帯の少ない地区ですが、皆で助け合っている、とても良い地区です。

久瀬原 (Kuzewara)

町一の高地で最東端

福賀の久瀬原(くぜわら)地区は、町で1・2位を争う山、木床山(648m)と伊良尾山(641m)に挟まれた盆地で、居住区の標高も440m前後と町一番。また、同地区の八保に行くには弥富の市道を通らなければ行けないほど、町の最東端に位置します。
長沢ため池付近の国道315号線から車で3分くらい。冬季は積雪が多く、その風景はまさに水墨画。時間を忘れさせてくれます。
山の幸にも恵まれ、阿武町林業振興会が毎年開催している「自然観察と山菜狩り」には、県内外から多くの来客者が訪れています。

久瀬原の風景



久瀬原一番の名所
大平恵美須神社

人口	23人
世帯数	7戸 (平成17年3月末現在・住基)
名所等	大平恵美須神社
有名人	木村 誠 議員
特徴	静かで山の幸多し

集落“再発見”

ふるさと

探訪!

田部・木与
55地区

その② 田部・木与



田部 (Tabu)

町一番の映画撮影ポイント

田部(たぶ)は、宇田郷の南西端、宇田郷支所と木与駅の間地点付近に位置します。

国道191号から山陰線の鉄橋をくぐると細長い谷が表れ、住宅は谷の山際につけられた車1台分の坂道に沿って点在しています。田は区画整理されたものの、今も棚田の形状を残し、宇田島が浮かぶ



住宅を縫うように走る道路

日本海とのロケーションは絶景です。また、海沿いを走る旧国道は、映画「配達されない3通の手紙(79年公開)」で、クライマックスシーンの撮影現場になりました。



棚田状の田からは宇田島浮かぶ日本海も望める

地区自慢

皆で助け合う
一つの大家族



田部駐在員
近藤秀昭さん
お母さん
通子さん

田部は一つの大家族。お年寄りが多いので、宮掃除などの部落行事は皆で助け合っています。あと、旧宇田郷村時代には2人も村長を出しているのが自慢ですね。

人口	54人
世帯数	22戸 (平成17年3月末現在)
名所等	田部神社
有名人	故・小野博康氏(田部に本籍・元トヨタ副社長)
特徴	坂道に沿った街並み

地区自慢

一体感が強く
美しい自然が
いっぱい



木与駐在員
水津寛治さん

木与は元々一つの村で、一体感が強くまとまりがある。冬海風は厳しいけれど、清ヶ浜に代表される海や、山、川など、美しい自然にも恵まれ、生活しやすい地区です。

木与 (Kiyono)

町一番のカメラ撮影ポイント

木与(きよ)は、奈古と宇田の間地点に位置し、海岸沿いに走る国道191号をはさむように家屋が立ち並んでいます。

昔から勤勉な人が多く「嫁をもらうなら木与からもらえ」という言葉もあるとのこと。

海に接する地域らしく、海岸側の住宅の一部には船小屋形式の住宅が今も残るほか、

宇田よりの山間部に位置する田園・上野山からは、木与の街並みや、

鳴き砂・清ヶ浜、野島が浮かぶ日本海も一望

できるなど、シャッターポイントが数多くある地域です。



木与一番の名所
木与八幡宮



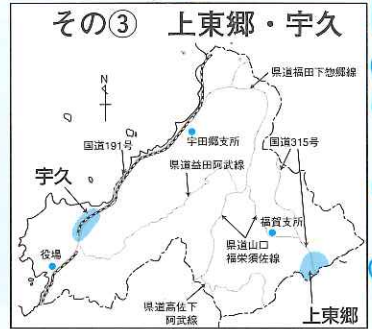
今も残る船小屋形式の住宅

人口	185人
世帯数	63戸 (平成17年3月末現在)
名所等	木与八幡宮
有名人	故・水津松太郎氏 (2代目阿武町長)
特徴	シャッターポイントが多い

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

上東郷・宇久
55地区



地区自慢



上東郷駐在員
市原 守さん

几帳面で
和を大切に
している

何事をするにも、話し合いを持って決めるなど、几帳面な人が多いですね。

あと、やさしい人が多く、和を大切にしている地区です。



町の名勝・長沢ため池



無角和種繁殖センター

上東郷(かみとうごう)は、阿武町の南東、国道315号沿いに位置します。むつみとの境には町の名勝、貯水量約45万トンを誇る長沢の池があります。慶長7年に中国随一の名将、益田越中守

元祥が、領内に不毛の地があるのを嘆き水田開発のため築いたものですが、四季を通じて様々な美しい風景を見せてくれます。特に、水面に映し出される秋の紅葉には目を見張るものがあります。また、無角和種繁殖センターがあるのもこの地区です。

水量・景色とも町一番のため池

町一番の鉱山、不思議な島

人口	28人
世帯数	13戸 (平成17年3月末現在)
名所等	長沢のため池
有名人	小菊の館代表 中野逸子さん
特徴	無角和牛の生産地 無角和種公社がある

地区自慢



宇久駐在員
小田景造さん

皆さん、
やさしく
親切なひと
ばかり

宇久地区は範囲の広い地区ですが、皆、やさしく、親切な人ばかり。協力心も強く、墓地の草刈りや川土手の掃除なども、毎年、協力しあって行っています。

宇久(うく)は、(株)ナベル横、国道191号のサエガ埜から木与までの間の、大きな地区です。
宇久鉱山
遠岳山中腹の宇久鉱山で採掘されていた耐火レンガの材料、良質のろう石は、昭和の日本耐火工場(現ニッタイ)の経営、また、奈古地域経済の発展、支えとなっていました。
不思議な島・鶴島
遠根川を渡るJR山陰本線沿い近くの田の中に、とても小さな山があります。これは、鶴島という島で、昔、このあたりの田が海(入江)だったことを証明するものです。



宇久のため人柱になったお鶴さんの名前が由来と言われる「鶴島」



宇久の名所、怪物(ばけもの)避けに建てられた「児安観音堂」

人口	111人
世帯数	38戸 (平成17年3月末現在)
名所等	児安観音堂
有名人	小田武之教育長
特徴	広い面積 小田さんが多い

集落“再発見”

ふるさと探訪!

井部田・寺東
55地区

その④ 井部田・寺東



地区自慢



井部田駐在員
近藤秀夫さん

助けあい、
分かち合う

野菜などが多くとれば、隣近所で分け合ったりする仲の良い地区で、水が良いのか長生きの方も多いです。あと、姫島はもちろん日和の良い時には見島も見渡せる景色は皆さんにも見せたいですね。

人口 46人
世帯数 17戸
(平成17年3月末現在)

名所等 須賀神社
有名人 白石友孝議員
(現住所は奈古)

特徴 原と下の2地区からなる



須賀神社

井部田(いぶた)の集落は、宇田漁港手前の国道191号からJ R山陰線の踏切を渡り、最大勾配20%(100m進んで20m上がる)という、とても急な坂道を登りきった所(標高約70m〜120m位)に2個所に別れて位置します。



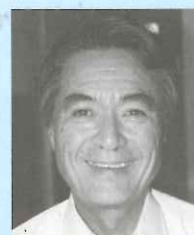
急な坂道と、ふるさとカレンダーのモデル(6月)にもなった日本海を望む風景

どちらからも見おろす日本の景色は壮観で、自宅から見える海の景色としてはまさに、まち一番ではないでしょうか。

井部田 Iwata

見おろす海の景色が町一番

地区自慢



寺東駐在員
石丸一吉さん

各界の
要職を輩出

現職の議員、校長をはじめ前町長や元J A組合長など、行政や教育、農政など、町内各界の要職を輩出していることと、蛇腹やプラスチックなどの工場があることが自慢ですかね。

人口 178人
世帯数 63戸
(平成17年3月末現在)
名所等 大覚寺・鶴ヶ嶺八幡宮
有名人 小田徳太郎前町長
特徴 昭和40年以降、世帯が十数軒増加

寺東(てらとう)は、J R山陰線をはさむ福賀側の寺側地と学校側の東光寺が一つになつてできた地区です。寺側地には県の天然記念物で町の木でもあるクスノキ巨樹や寿齢300年余りを経た大杉、大松がある鶴ヶ嶺八幡宮が、東光寺には尼子義久の墓や県下最大のビヤクシンで有名な大覚寺があり、町民の皆さんも一度は訪れたことがある、または訪れてみたい地区の一つではないでしょうか。



鶴ヶ嶺八幡宮の大杉



大覚寺にある尼子義久の墓

寺東 Teratou

一度は訪れてみたい地区!? 名跡は町一番

集落“再発見”

ふるさと

探訪!

上郷・下東郷
55地区

その⑤ 上郷・下東郷



炭酸水の地下水脈

上郷 Kamigou

上郷（かみごう）は、奈古の平野部の東側、郷川の左岸側に位置し、人家は県道益田阿武線と高佐下阿武線の交差点付近に集中しています。地下には炭酸水の水脈が走り、過去には温泉旅館が存在したことも。また、屋外スポーツの拠点、町民グラウンド

があるのもこの集落です。その昔、上郷周辺の郷川は絶好の遊び場で、遊泳可能だった砂防ダム付近には、奈古中の子どもたちが集まり、歓声を轟かせていました。



上郷の中央通り



砂防ダム下 上郷、下郷、野柳の田畑を潤す一ノ瀬頭首工

地区自慢

家づくりにかかわる人が多い

上郷駐在員
渡辺幸夫さん



地区行事に積極的に参加されるなど、協力的で、お人柄の良い人が多いですね。

あと、大工さんや左官さんなど、家づくりにかかわる方が多い地区です。

人口	130人
世帯数	45戸 (平成17年3月末現在)
名所等	町民グラウンド
有名人	俳句協会の 河原慶子さん

地区自慢

飾りきれないほど賞状が

下東郷駐在員
吉岡俊輔さんの
奥さん享子さん



下東郷は想像力豊かな人が多く、団結力のある地区です。農業まつりではイラオそばを考え出したり、公民分館には球技大会や花いっぱい運動などの賞状が飾りきれないほどいっぱいあるんですよ。

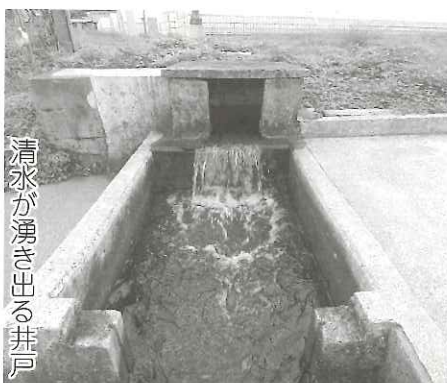
人口	46人
世帯数	19戸 (平成17年3月末現在)
名所等	太用寺の聖大観音像
有名人	花づくり名人の 伊藤米子さん

良質で豊富な地下水脈

下東郷 Shimotougou

下東郷（しもとうごう）の集落は、石丸旅館から、県道山口福栄須佐線と国道315号の交差点付近までの山側に位置し、太用寺の聖大観音像（高さ8・3m）が目印。雲や雨水を司る神、竜権さまが祭られたイラオ山を背後にかかえているからか、良質で豊富な地下水に恵まれ、清水の湧き出る池や、福賀地区水道の水源池がある地区です。

また、農地も広く米作はもちろん、スイカやほうれん草栽培など、農業の盛んな地区です。



清水が湧き出る井戸



高さ8.3mを誇る太用寺の聖大観音像

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

今浦・下郷
55地区



地区自慢



今浦駐在員
角石昭八さん

現役の海女が
10人以上

今浦は漁港をかかえ、漁業にたずさわる人が多い集落やね。漁業者は年々減るけど、若いもんは大きな船でようもうけよるし、海女（女性の）も現役で10人以上はおるよ。やねけ一人もおらんし、今浦はええところいね。

人口 150人
世帯数 55戸
(平成17年3月末現在)
名所等 冬のイルミネーション



白壁がレトロな今浦の中央通り



姫島(左)・宇田島も望める宇田漁港

今浦(いまうら)は、2級河川・宇田川の木与寄り、国道191号の海側に位置し、宇田郷の最も人口の多い集落。郵便局をはじめ、漁協や農協、また、数年前まで旅館まであった宇田の中心地区です。環境美化にとめられる方が多く、国道筋に花壇をつくられたり、冬の巨大イルミネーション(半分は元浦)は今

では宇田の風物詩に。また、新鮮な魚介類が一般住民も買えるところあって、巷で人気の夕セリ市場(夕方4時開始・現在は廃止)があったのもこの地区です。

今浦 Imapura

冬のイルミネーションは一見の価値あり

地区自慢



下郷駐在員
三浦啓治さん

若さと団結力で
分館ソフトも強い

奉仕活動や地区行事など皆さんとても協力的ですね。あと、若い人が多く団結力もあるので夏の分館ソフトボール大会では優勝や準優勝したことが何回もあるんですよ。

人口 117人
世帯数 38戸
(平成17年3月末現在)
名所等 蛸が乱舞する郷川

下郷 Shimogou

四季を通し楽しめる散歩道

下郷(しもごう)は、郷川に架かる八幡橋から下流の左岸側に位置します。集落の南東には田園が広がり、郷川や道沿いに整備された用水路を流れる水は、夏場の水回りも涼しく感じさせてくれるほど清く量も豊富。初夏の郷川を乱舞する蛸や蛙(あぜ)に咲き誇る秋の彼岸花など、四季を通じきれいな田園風景は心を和ませてくれます。最近、健康のためウォーキングする人をよく見かけますが、道も平坦で、散歩コースにおすすめの地区です。



水量豊富な用水路と田園風景



いたるところに残るなつかしい風景

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

新田・野柳
55地区



地区自慢



ルーラル
フェスタに
おいでませ
新田駐在員
松永 守さん

新田は面積が広うて、静かなところですね。水もきれいで、美味しいし、夏は虫も多いですよ。また、11月のルーラルフェスタでは新田の人達総出でお餅や野菜などの販売をしていますので、町の皆さんもぜひ来てみてくださいね。



四季を通じ旬の野菜で人気
ふるさと物産市



沼の奥方向から見た新田の広大なほ場

新田（しんでん）は、石丸旅館付近から国道315号須佐方向頂上付近までの、広大な面積を誇る地区です。国道沿いの「ふるさと物産市」には、地元の方々が丹誠込めて育てた旬の野菜や果物が並び人気を集めています。伊当側の最深部には「沼の奥」という地名があります。

名前のとおり昔は沼地だったため、ほ場整備前の田は農業用機械の取扱に大変苦労した時代も。また、昭和59年から平成10年まで稼働していた衛生センター（し尿処理施設）があったのもこの地区です。

新田 Shinden

旬の野菜がそろう手作り市場が人気

人口	43人
世帯数	19戸
	(平成17年3月末現在)
名所等	ふるさと物産市 諫早さん宅の花壇

地区自慢



皆、よう
まとまっちゃうよ！
野柳駐在員・
藤井聖博さんの
お母さん
千津子さん

皆で住吉さまの掃除をしたり、若い人たちも青友会ちゅう会を作って川の草刈りをしたりして、よう、まとまっちゃうし、ええ人が多いところですよ。あと、昔はダイダイ、今はキウイなど、果樹畑の多いところですね。

人口	144人
世帯数	52戸
	(平成17年3月末現在)
名所等	住吉神社跡 奈古谷川土手に咲く桜

野柳（のやなぎ）は、奈古小学校前の踏切を渡った奈古谷川に架かる柳尾橋周辺で、左岸側の野地（のじ）と右岸側の柳尾（やなぎお）が結ばれてできた集落です。数年前、奈古谷川土手に植生するリュウゼツランが花を咲かせ、まちの話に。また、川幅いっぱい美しく咲く桜は地区の皆さんの自慢です。不思議なことに、海からほど遠いこの地区に、海の神様を祭る住吉神社の跡地が残っています。これは、昔ここが海（入り江）だったためです。



昔は海だった！
今も残る住吉神社の跡地



川幅いっぱい咲かせる桜は
地区自慢

野柳 Noyanagi

野地と柳尾が結ばれた

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

東方・元浦
55地区



四季を通じ様々な音色

東方 Toubou

東方(とうぼう)は、東は町民センター付近から、西は役場付近までの長細い形で、阿武町で最も人口の多い集落です。

また、同地区には町民センターや郵便局、奈古駅に駐在所、保育園に小・中・高校などの公共施設のほか、多種多様な店舗から医院までが軒をそろえる、色々な意味での阿武町の中心地区です。

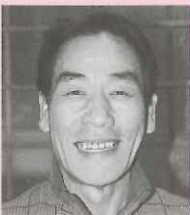


お化粧が可愛い地藏様

地区自慢

町の公共
機関が集中

東方駐在員
青木正憲さん



教育、文化、行政、金融、体育センターなど、町の公共機関が集中する我が東方地区は、全国的にも例が少ないものと誇りに思っています。奈古駅の桜並木や菅原神社のイチヨウなど、見所も多い地区ですので、皆さんもぜひ見に来てください。

人口 200人
世帯数 82戸
(平成17年3月末現在)
名所等 奈古駅の桜並木
菅原神社



リズムカルな金属音が心地良い
今では珍しくなった鍛冶屋さん

この集落には四季を通じさまざまな音が聞こえてきます。元氣に通学する子ども達の声、地藏盆の太鼓に天神様祭の巫女舞を華麗に舞わす笛、また鍛冶屋から聞こえてくるリズムカルな金属音などどれも、この地区の人達の心を和ませてくれる自慢の音なのです。

地区自慢

元氣な
お年寄りが多い

元浦駐在員
堀 金治さん

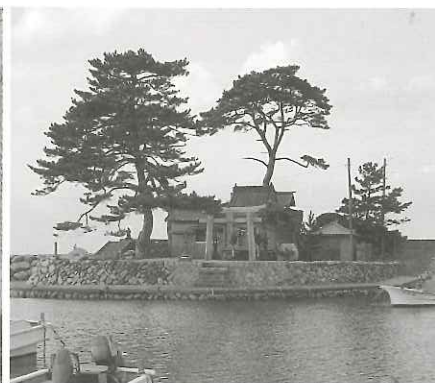


元浦は若いもんや後継者は少ないけど、その分、高齢者が頑張っちゃう地区やね。漁師も現役で頑張っちゃうし、畑にも行く。とにかく元氣なお年寄が多いね。あと、宇田川の河口に沈む夕日は一見の価値があるね。

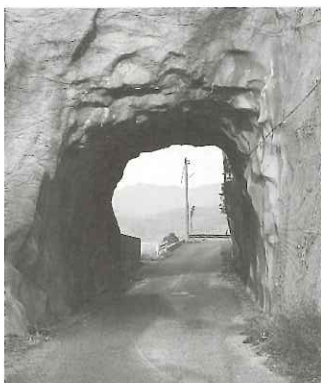
海を渡る神輿が有名

元浦 Motoura

元浦(もとうら)は、宇田川河口付近の両岸に位置し、人口は宇田郷で最も多い今浦とほぼ同規模の集落です。
夏の十七夜祭りに、子ども神輿や本神輿が海を渡ることで有名な三徳神社があるのもこの地区です。



宇田郷を代表する
名勝・三徳神社



スリルある?!
町道のトンネル

人口 138人
世帯数 58戸
(平成17年3月末現在)
名所等 三徳神社
石で築かれた河口の
一文字波止

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

伊当・市
55地区



地区自慢



伊当駐在員
野原恒雄さん

中国山地
が一望

伊当は、町の端ですが国道315号が通っているので交通の便は良いし、少し山を登れば、匹見や津和野など西中国山地が一望できて、案外良いところですよ。あと、お年寄りの方が多いのですが、お互いに助け合うなど、人情豊かな人が多い地区ですね。

人口 29人
世帯数 12戸
(平成17年3月末現在)
名所等 3haを誇る梨畑



細長い谷に囲まれた伊毛

伊当(いとう)は、福賀地区の北部に位置し、新田よりの伊毛と旧須佐町の弥富と隣接する田別当の2地区で構成される地区で、戸数はあわせても12戸と少ないものの、面積はとても大きな集落です。伊毛地区は細長く谷に囲まれ、ほとんど車の通りもないとても静かな地区。田別当地区は宇生賀の黒川と並んで梨



いたるところに懐かしい景色
梨の堆肥に使われる、かやのとしゃく

の生産が盛んな地区です。梨は田別当全体で約1200本あり、1本に約400個の実を付けます。桜にも負けないきれいな花が咲くのは4月中頃で、緑の山をキャンパスに彩られる花景色は地区の自慢となっています。

伊当 Itoya

梨の生産が盛ん

地区自慢



昭和40年頃、法積寺上の公園で花見をする皆さん

市(いち)は、役場と漁港の中間付近に位置し、商工会館や蓮寺で有名な法積寺がある地区です。昭和の中頃までは移転前の郵便局や農協のほか、家具店(太陽家具)もありました。また、中村秀明町長、末若憲一議長もこの地区の住民で、



市駐在員
末若元治さん

筋の通った地区

市の特徴は、“市”の字のように道も川も、そして人の心もまっすぐ筋の通った地区ですね。通りには格子戸の家も数件残り街の景観も風情があるし、法積寺のしだれ桜や新道路の掘り割りの桜もとてもきれいですよ。

人口 92人
世帯数 34戸
(平成17年3月末現在)
名所等 法積寺
(蓮花、しだれ桜)

市 Ichi

蓮寺の法積寺が有名



格子が懐かしい市の街並み

二人はお隣同士でもあります。法積寺の上にある小山の頂上は公園になっていて、30年前位前までは、当時の子どもたちの人気の遊び場になっていたほか、大人たちには花見をする絶好の場所でもありました。

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

郷・土
55地区



郷 Gou

桜の名所が多い

宇田の郷(ごう)地区は、宇田の中心付近に位置し、ふれあいセンターや小学校がある地区です。

郷地区は桜の名所が多く、宇田八幡宮をはじめ、旧宇田中学校、旧宇田保育園の運動場の桜は、地域の皆さんの花見の場ともなっています。



宇田八幡宮の桜

松尾芭蕉が詠んだという「たがふな、潮の花も浦の春」の俳句碑や長門三十三番霊場の第五番札所のある興昌寺があるのも、ここ郷地区です。



興昌寺境内にある長門三十三番霊場第五番札所

地区自慢

2カ月に1回は
集まっています

郷駐在員
西村弘義さん



郷地区は仲の良い地区です。地区全員で行う花見は毎年の恒例行事ですし、ボウリングやグラウンドゴルフ、健康教室開催など、2カ月に1回は集まって何かしていますね。あと、お年寄りを含めて元気な人が多いですね。

人口	100人
世帯数	43戸 (平成17年3月末現在・住基)
名所等	宇田八幡宮、興昌寺、千鶴のパン工房

土 Tsuchi

海水浴の穴場、土海岸

奈古の中心地区からニッタイの工場を右折、魚の絵の描かれたトンネルを抜け、大きく開けたところ、そこが土(つち)地区です。

田畑は広く農業が盛んな地区で、ため池や田畑を取り囲むように点在する家屋など、のどかな風景はまさに癒しの空間です。



魚(カサゴ)の絵が描かれた土埴トンネル



砂利石が奏でる波音が心地よい。遠くは長門市まで見渡せる土海岸

また、横から見た鹿島や、近くて大きな大島など、ここでしか見ることのできない海の景色も自慢の一つ。海岸は、4〜5cmくらいの丸い石で敷き詰められていて、砂のように体にまとわりつくこともなく、海水浴の隠れた穴場にもなっています。

地区自慢

天気の良い日は
長門まで

土駐在員
松浦 勲さん



土は海あり山あり、そして景色の良いところですね。しけた日の海から吹き付ける風はやねこいけど、天気の良い日には、鹿島や大島はもちろん、遠くは長門市の方まで見渡せ、それは素晴らしい眺めなんですよ。

人口	72人
世帯数	20戸 (平成17年3月末現在・住基)
名所等	土海岸、土ため池

集落“再発見”

ふるさと探訪!

美咲・野沢
55地区 プラス1



55番目の新行政区

美咲 MISAKI

奈古の美咲（みさき）は、この4月1日に誕生したばかりで、阿武町55番目の行政区。町が定住対策を目的に造成した住宅地に建ち並ぶ集落で、水ヶ迫の前側、美里団地の野柳側に隣接しています。

ガーデニングされた庭、和風、洋風の個性的な新築家屋



ステキなガーデニング



新築でカラフルな家屋が建ち並ぶ美咲

地区自慢

華やいで栄える
まち“美咲”
美咲駐在員
齋賀定男さん



美咲は「いつまでも華やいで栄えるまち」という意味で、地区の投票で決まりました。年齢層の幅広い地区ですが、レクリエーション行事などを通して融和を図り、地域ぐるみで子どもを大事にできるまちにしたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

人口 44人
世帯数 17戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 新築でカラフルな家屋が建ち並ぶ風景

が立ち並ぶ様は、まるで住宅展示場。現在の建築・入居済みの住宅は17戸ですが3年後の平成20年頃には、25区画全てが建てそろう予定です。

地区自慢

鯉のぼりなど見においでませ!



ほがらかで協力的な人が多く、いざというときには皆さんよう心配されます。

町内の皆さん、鯉のぼりや小次郎の墓をぜひ見においでませ。

人口 35人
世帯数 15戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 佐々木小次郎の墓
大井川の鯉のぼり

佐々木小次郎の墓(側面)



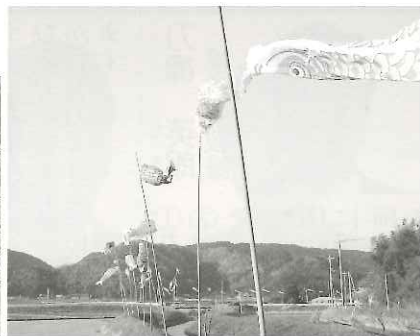
佐々木小次郎の墓(正面)

野沢 NOZAWA

剣豪・佐々木小次郎の墓で有名

野沢（のざわ）は、石丸旅館付近から福田八幡宮付近までの長細い地区で、福賀の5月の風物詩・大井川沿いを泳ぐ120匹の鯉のぼりの最上流付近がここ野沢地区です。

野沢に巖流島の決闘で宮本武蔵に敗れた剣豪佐々木小次郎の墓（遺髪墓）があることは、すでに皆さんもご存じのとおりですが、野沢には佐々木本姓が多く、佐々木小次郎の末裔（まつえい）と言う伝説もあります。



5月の風物詩・大井川の鯉のぼり

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

葛籠・筒尾
55地区プラス1



地区自慢

美しい川と
神楽舞が自慢

葛籠駐在員
伊藤繁汎さん



皆さん協力的で、まとまりのある地区です。2本ある川は共に最上流で、けがれのないうまに清流。観音様横にある大小2つの滝もなかなかですよ。あと、神楽舞も私たちの大きな自慢です。

人口	26人
世帯数	10戸 (平成18年4月1日現在・住基)
名所等	観音様・荒神様(神社)、 神楽舞



宇田の“奥の院”葛籠

華麗な舞が奉納されます。集落の西側には空線という町道があります。その名が示す通り、最大勾配20%以上という道路を車で走れば、そのまま空までたどり着けそう!?



観音様横の大小2つの滝

葛籠 Tsudura

岩戸神楽の伝承地

葛籠(つづら)は、宇田の“奥の院”、県道福田下宇田線の福田よりの集落で、栃原の田平地区とは直線距離にしてわずか1.5kmに位置します。当地区には岩戸神楽が伝承され、毎年10月の秋祭りでは

地区自慢

海の水が
とてもきれい

筒尾駐在員
米原敏男さん



農繁期には隣近所で手伝い合うなど、人情味豊かな地区です。栽培センターがあるように、海の水はとてもきれいで、夏には海水浴客も多いし、魚もよく釣れます。皆さんもぜひ一度来てみてください。

人口	46人
世帯数	18戸 (平成18年4月1日現在・住基)
名所等	外海第2栽培漁業センター、 御伊勢様(高嶺神社)



導流堤も釣りのポイントの1つ



大平瀬灯台に
続く檜の群生林

筒尾(つつお)は、阿武町の最西端、奈古の中心地からはトンネルを2つ通り抜けた所に位置します。大平瀬灯台に続く道の途中にある檜の群生林と、灯台から見渡せる大海原、また栽培センターにかかる橋の上から

筒尾 Tsutsuo

釣りのポイントが多い

見える見島などの景観は一見の価値あり。磯釣りやルアー釣りなど、魚種、ポイントとも豊富で、町内外各地から釣りファンが訪れています。

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

西の1・中村
55地区プラス1



西の1 Nishinoichi

町で5番目の人口

西の1(にしおいち)は、奈古漁港に面し、ニッタイ付近から雲寺付近までの集落。奈古浦地区としては、釜屋に次ぐ人口で、町全体でも5番目に大きな集落です。

昭和40〜50年代、日本耐火レンガ工場(現ニッタイ)の最盛期には、巨大な煙突2本(高さ42.7m、直径4.6m)



細く迷路のような奈古浦通り

が誇らしげにそびえ立ち、午後4時過ぎに工場で働く300人もの皆さんが長蛇の列を作り、狭い奈古浦通りを帰路につく様は当時の風物詩でした。



当時、2本の巨大な煙突は、鹿島とならぶ奈古のシンボルでした

地区自慢

心和ませる
風景

西の1 駐在員
小田 猛さん



定年退職で数年前から西の1の妻の実家で暮らすようになったのですが、地区の皆さんは純真の方が多く、独特の方言は味わいがありますね。また、鹿島を背景に岸壁でお年寄りが雑談されたり、船が港を出入りする風景はとても心を和ませてくれます。

人口 164人
世帯数 64戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 ニッタイ、了雲寺、ほごや

地区自慢

イベントに
来て!



中村駐在員 河村文男さん
セツコさん夫婦

中村の中央通りは、通学路になっているのですが、子どもたちが元気にあいさつしてくれるので、とても気持ち良いですね。また、団地もあって若い人も多く活気があります。夏の花火大会、秋の大農業まつりなど、イベントもたくさんありますので、ぜひ遊びに来てくださいね。

人口 106人
世帯数 46戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 福田八幡宮、福賀診療所

中村 Nakamura

ブチサンショウウオが生息

中村(なかむら)は、藤村商店付近から福田八幡宮付近までの集落で、福賀で最も人口の多い地区です。

役場福賀支所や診療所、またJAに小中学校なども集まる福賀の中心地区で、地区の全体行事も多い。毎年8月14日の福BONまつりで打ち上げられる花火は、地区の皆さん



愛嬌あるブチサンショウウオ

んの楽しみなっています。保育園裏の山には、地元の人たちにもあまり知られていないブチサンショウウオ(成体11〜12cm)が生息する小さな池もあります。



福田八幡宮

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

平原・西の2
55地区プラス1

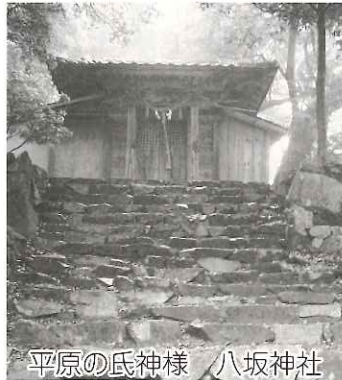


平原 Hirabara

町で唯一の緑綬褒章受章者

平原（ひらばら）は、郷の左奥に位置し、宇田川を挟む細長い谷に家屋が点在しています。

国道や鉄道などから遠く離れた平原はとても静か。場所も選ばず佇めば、鳥の鳴き声、宇田川の源流のせせらぎ、竹林や木々の揺れる音などがとても鮮明に聞こえ、心が安ら



ぎます。町で唯一、明治17年に孝子として緑綬褒章を受けた広石末蔵さん（故人）一家が生活していたのもここ平原です。

地区自慢

チームワーク
が抜群

平原駐在員
柳井宣政さん



平原はチームワークが抜群じゃね。集落での決め事に反対する人もなく皆さん協力的。町道の草刈り作業などは年に10回もやってやけ、いつもきれいじゃないね。あと、宇田川の水も源流できれいなから、虫も多いよ。まー一度見に来てみいね!

人口 29人
世帯数 12戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 八坂神社、砂防ダム、孝子・(故)広石末蔵氏

地区自慢

盆踊りの太鼓を
たたける
子どもが多い

西の2駐在員
米原輝男さん



西の2の皆さんは、町民運動会や婦人会などの行事への参加要請は断わることなく、とても協力的ですね。

それから、盆踊り保存会の会長・俣野さんから盆踊りの太鼓を習い、大人に負けずにたたける子どもたちが多いいのも西の2の自慢です。

人口 79人
世帯数 30戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 不思議な井戸、蒸気船まんじゅう、巨大ソテツ

西の2 Nishinoni

まか不思議な井戸

西の2（にしのに）は町1番の人口密集地帯。空き地はほとんどなく、赤ちゃんの泣き声なら3軒先からでも聞こえてくるほどに、ところ狭しと家屋が建ち並んでいます。海沿いの道路脇に、まか不思議な井戸があります。海から10mと離れていない井戸なのですが、その水面は海面より



りも1m高く、満潮時には横穴からあふれ出すほどです。初代齋藤医院や道の駅でおいしいと評判の蒸気船まんじゅうの製造販売店、八代本店があるのもここ西の2です。

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

西の3・森見藤
55地区プラス1

その⑮ 西の3・森見藤

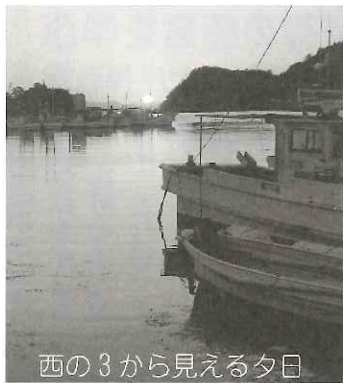


商業地として栄えた

西の3 Nishinosan

西の3(にしのかん)は、町で最も面積が小さく、人口の密度は奈古で1、2を争う集落です。

元気なお年寄りが多く、町で2番の高齢者・俣野イチさん101歳や91歳で現役の理容師、田中カメラさんが店を構えるのも、ここ西の3です。昭和40年代頃までは商業地



西の3から見える夕日

区として栄え、現在の酒屋、菓子屋、散髪屋のほか、当時は豆腐屋、桶屋、米屋、雑貨屋、パーマ屋、金物屋、果ては仏具屋(現・萩市金子仏具店)まで、ありとあらゆる商店が軒を並べる集落でした。



西の3の通り
左は三好酒店、右は田中散髪屋

地区自慢

スポーツマン
が多い

西の3駐在員
松浦 博さん



21世帯の小さな集落やけど、明るくノリが良い人が多いから、飲み会などすれば盛り上がるし団結力もある。スポーツマンも多く、分館対抗のソフトボール大会で、過去8回も優勝している。これも西の3の自慢のひとつやね。

人口 51人
世帯数 21戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 白壁と格子が今も残る
三好酒店、夕日美しい港

森と見泥と藤原が集まった

森見藤 Morimifuji

森見藤(もりみふじ)は、森と見泥と藤原の小集落が一つになってできた集落で、国道315号付近から林業センター付近までのとても大きな集落。愛宕様など、神社が数カ所あるため、信仰心の厚い人が多く、祭り事の多い集落です。



森から見た、見泥、藤原方面。
中央付近は地震を起こす亀がいたという亀山

藤原と見泥の間にある茶臼山の一部に亀山と呼ばれるところがあります。これは戦国時代、この山の下に住んだ亀が絶えず山を揺れ動かし、城を築くのに支障を来していた。そのため、その亀を掘り出し退治したところ、山の揺れが治まったことから、亀山という地名がついたそうです。



ニジマスが泳ぐ
清らかな湧水池(くつわ)

地区自慢

清らかで
豊富な湧水

森見藤駐在員
末外俊雄さんの
奥さん富美枝さん



70歳、80歳代の人でも草刈り機を使って除草作業をされるなど、元気なお年寄りが多い地区です。湧水が豊富で森地区の湧水はニジマスが生息できるほど清らか。量も豊富で集落全体の田の水が補えるほどですよ。

人口 51人
世帯数 24戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 福谷ため池、林業センター、福の里事務所

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

畑・浜の1
55地区プラス1



地区自慢



お米も
おいしい!

畑駐在員
藤村元彦さん・節子さん夫婦

戸数が少ないおかげで、家族的なお付き合いができ、とても仲の良い集落です。

景観はもちろん、生活環境でも早くから上下水道が整備され、とても住みやすい所ですね。あと、土が良いのか、とれるお米もおいしいと評判なんですよ。

人口 16人
世帯数 7戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 棚田・日本海に沈む夕日などのロケーション



眼下には棚田と日本海
夕日も最高です



棚田に放牧された無角和牛と
背後に山々がそびえる畑の集落

畑（はた）は、大字惣郷で宇田よりに位置し、国道から少し登った高台にある集落です。

前方に棚田と日本海を見下ろし、背後に宇田郷のシンボル神宮山ほか、山々がそびえるロケーションは阿武町でも屈指。水が石垣を順に流

れ落ち、やがてまわりの風景に同化する初夏の棚田。碧く光り輝く真夏の海、山々が紅く染まる秋、また、年を通して見られる夕日や漁り火は、一見の価値があります。

畑 Hata

指折りのロケーション

地区自慢



うちのシャギリ
が一番!
浜の1駐在員
水津靖二さん

浜の1の皆さんは、人情が厚く、心の温かい人が多いと思うよ。

まとまりも良く、去年の鹿島神社式年祭のシャギリ（マツケンサンバでパレード）も、うちの集落が一番えかったじゃろう!

人口 84人
世帯数 39戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 松栄堂、青年クラブ（現在は防火水槽）



浜の1の中央通り
手前が松栄堂、奥は白井表具店



情緒ある路地

浜の1（はまのいち）は、奈古浦地区の中央に位置し、昭和40年代頃までは奈古の中心地として栄えた集落です。中央通りには、移転する前の駐在所や萩信用金庫があったほか、現在も毛利の殿さま巻で有名な松栄堂や大野拾番商店、八祥園茶舗、白井表具店などの商店が軒を連ね、当時の繁栄振りが伺えます。

昔、漁協の後ろに青年クラブという木造2階建ての建物がありました。地域の集会や奈古浦漁村青年同盟（今という青年団）が、柔道の夜間稽古に使用していたそうです。

浜の1 Hamanoichi

奈古浦の中心地として栄えた

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

浜の2・宇田地
55地区プラス1

その⑰ 浜の2・宇田地



地区自慢



ええ劇場が
あった
浜の2駐在員
水津 肇さん

浜の2はお年寄りの多い集落やけど、祭の引き受けをやっても、クリーンアップ大作戦の時でも皆さん協力的。あと、奈古倶楽部は映画館の前は劇場やったけど、ええ劇場やったから、旅の歌舞伎なんかは萩には行かなくても奈古には来たほでね。

人口 114人
世帯数 42戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 漁協奈古支店、浦公民館



子どもたちに大人気 おかじん



漁協荷捌所付近

浜の2(はまの2)は、漁協奈古支店や萩信用金庫がある集落です。
現在の萩信用金庫がある場所は、昭和30年代半頃まで、奈古倶楽部という映画館(後に丸正ストア)でした。当時は数少ない娯楽施設、立ち見ができるほど多くのお客さんで

賑わっていたそうです。昭和30年代から時間が止まってしまったような空間で、今も昔も子どもたちに大人気の駄菓子屋「おかじん」こと岡村商店があるのもここ浜の2です。

町唯一の映画館があった

浜の2 Hamanoni

地区自慢



餌付けされた
コイとカモ
宇田地駐在員
矢次武文さん

小さな集落で人も減ったが、新年会や祭事など伝統的な行事がこれまで通り維持できているのは協力的な人が多いからじゃろう。

あと、大井川には集落の皆さんが餌付けをしてコイと一緒に自然のカモが住みついとるよ。

人口 28人
世帯数 12戸
(平成18年4月1日現在・住基)
名所等 大井川の蛍&カモ、旧診療所(現公民分館)



金社方面から見た宇田地
中央は大井川



福賀唯一の理容店

宇田地(うたぢ)は、矢次モーターズ付近から県道の電光案内板付近までの集落で、家屋は県道側に11戸、大井川側に1戸の計12戸。中村より

には福賀唯一の理容店「カミキリ虫・とし」があります。宇田地の集落を流れる大井川は蛍の名所として知られ、平成6年から8年にかけて福賀ホテルまつりが盛大に開催されました。

ホテルまつりの地

宇田地 Utaji



集落“再発見”
ふるさと

探訪!

尾無・浜の3
55地区プラス1

半農半漁の集落

尾無 Onashi

尾無(おなし)は町の北部に位置し、JRと幅3mほどの県道の間、ところ狭しと民家が軒を連ね、大半の方が漁師のかたわら農業も営む半農半漁の集落です。



大敷でかかった魚を選別する皆さん



山と海のわずかな隙間に
建ち並ぶ尾無の家々

で、大敷組合は今年一新され
たばかり。これからの好漁・
発展が期待されています。
今年、尾無に山口県初の漁
家民宿「浜の小屋」がオープ
ンしました。昔ながらの街並
みや目の前に広がる大海原、
地域の方々の人柄など、訪れ
る都市部の方々の心をいやし
てくれると評判です。

地区自慢



尾無駐在員
大賀定一さん

大敷が自慢!

なんちゅうても大敷が尾無の自慢じゃろう。集落が共同で物事をする事は、地域が活気づくしね。

あと、誰にでも親しく接する、お人好しが多い集落じゃいね。

人口	90人
世帯数	31戸 (平成18年4月1日現在・住基)
名所等	釣りの名所・尾無漁港、 漁家民宿「浜の小屋」、 日本海の水平線

地区自慢



浜の3駐在員
松浦 滋さん

花見のできる
住吉神社が
自慢!

まつりの準備などは協力的じゃし、夏のラジオ体操にも、よおき人が出て。そりゃあ、まとまりのええ集落やね。

あと、桜があって花見ができる住吉神社やドロコ広場があるのも自慢よ。

人口	114人
世帯数	42戸 (平成18年4月1日現在・住基)
名所等	住吉神社、旧どろんこ 広場、農地



奈古浦地区では珍しい
家屋に囲まれた農地



住吉神社の隅には海亀が祀られています

浜の3(はまのさん)は、
割烹さなや付近から住吉神社
付近までの地域で、浜4集落
の中では人口、世帯とも最も
多い集落です。
家屋が密集しているイメー
ジが強い奈古浦地区の中で、

比較的農地(畑)が多いのが
浜の3の特徴。植えてある花
や野菜は道行く人の目を和ま
せてくれています。
大坂屋狸容院や地酒「吟」
でおなじみ河野酒造があるの
も、ここ浜の3です。

浜の3 Hamanosan

農地が多い?!

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

浜の4・金社
55地区プラス1



地区自慢



浜の4駐在員
吉屋 強さん

道の駅が
近く便利!

若いもんは少ないけど、皆気心知れた人柄のええ人ばかり。水路があるし、海からの風で風通しがええから夏は涼しい。あと、道の駅が近いから便利もええところじゃね。

人口 69人
世帯数 32戸
(平成18年3月末現在)
名所等 田待川、路地
夏涼しい



家々の間を縫うように流れる田待川



集落も路地も細い浜の4

釜屋との境には、幅1mにも満たない水路(田待川)が配が少くない集落です。部で、町で一番交通事故の心配が少くない集落です。釜屋との境には、幅1mにも満たない水路(田待川)が配が少くない集落です。部で、町で一番交通事故の心配が少くない集落です。釜屋との境には、幅1mにも満たない水路(田待川)が配が少くない集落です。

浜の4(はまのよん)は、釜屋集落に隣接する、とても細長い集落。最も細いところでは家2軒分というところもあります。集落内の道も細く、ほとんどが歩行者専用。乗用車が入れるところはほんの一部で、町で一番交通事故の心配が少くない集落です。釜屋との境には、幅1mにも満たない水路(田待川)が配が少くない集落です。

田待川流れる情緒ある風景

浜の4 Hamanoyon

地区自慢



金社駐在員
岡村 静さん

道沿いの
花がきれい

近所づきあいが良く、環境美化に努める人が多い。ちょっと前まで、集落の道沿いに婦人会の皆さんが植えた花がいっぱい咲いて、とてもきれいやったよ。また、来年が楽しみやね。

人口 51人
世帯数 20戸
(平成18年3月末現在)
名所等 若宮・愛宕神社、大豆乾燥施設(元ライスセンター)、忠魂碑

愛宕山から湧き出る水はとても清らかで、星空と競い乱舞する初夏の蛍は一見の価値があります。木原、高村姓が多いのも特徴で、全戸数の約半分を占めるほど。また、福賀中学校の生徒たちが、祭やイベントなどで舞う神楽は、ここ金社に伝わる神楽で、生徒たちの指導に当たられるのも、金社神楽保存会の皆さんです。

金社(かなこそ)は、町で3番目に高い山、愛宕山の南東部ふもとに位置し、宇田地から亀尻(下笹尾)方面に向かう途中にある集落です。



愛宕山のふもとにある金社集落



集落の向かいにある忠魂碑

神楽舞伝わる

金社 Kanakoso

集落“再発見”

ふるさと

探訪!

伊豆・三和
55地区プラス1

その20 伊豆・三和



宇生賀盆地の玄関口

伊豆 IZU

伊豆(いず)は、西台のふもと、宇生賀盆地の北東部に位置し、福田側からの玄関口となっている集落です。

過去2度にわたり整備された田は広大で、最も多きなほ場は一区画8000㎡。スイカやホウレンソウなど、ハウ



宇生賀八幡宮

地区自慢

チームワーク
抜群

伊豆駐在員・
田中茂男さん



伊豆は40、50代の働き盛りの人が多く、皆さん前向き。チームワークも良いから、話もすぐまとまりますね。

それから、宇生賀全体の自慢ですが、四つ葉サークルの皆さんが植える、道沿いの花は、本当にきれいですよ。

人口 44人
世帯数 16戸
(平成18年3月末現在)
名所等 育苗センター、
宇生賀八幡宮

反射光が眩しいビニールハウス群



ス栽培も盛んで、晴れた日には、ビニールに反射する太陽の光が眩しいほど。
集落入り口付近の山林にひっそりと、宇生賀八幡宮が鎮座しています。今年の正月も宇生賀のほとんどの皆さんが初詣に訪れたそうです。

三和 Sanwa

県指定の天然記念物ミツガシワが自生

三和(さんわ)は、宇生賀盆地の南東側に位置し、久瀬原地区に次ぐ標高。雪の多さは町内で1・2位を争う集落です。

旧むつみ村高佐地区との境付近にある熊田ため池は、水量25万4000tを誇る親子ため池で、広大な宇生賀盆地を潤しています。

三和には珍しい植物が二つ自生しています。一つは、ため池に自生する県指定の天然記念物、ミツガシワ。もう一つは、深紫色の花が可憐なトリカブトで、道路すぐ横の山林でも見ることができます。

地区自慢

「りょう」の
湧き水

三和駐在員
西村敏子さん



三和は、学校の先生や法人の役員など、けっこう人材が豊富ですね。

あと、県内でも珍しいミツガシワや「りょう」の神様*の横に湧く、きれいな水が三和の自慢ですね。 ※小さな祠

人口 41人
世帯数 17戸
(平成18年3月末現在)
名所等 熊田ため池、
ミツガシワ群落、
トリカブト

ミツガシワが自生する熊田の親子ため池

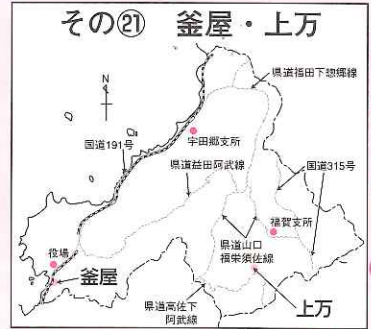


トリカブトの花

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

釜屋・上万
55地区プラス1



地区自慢

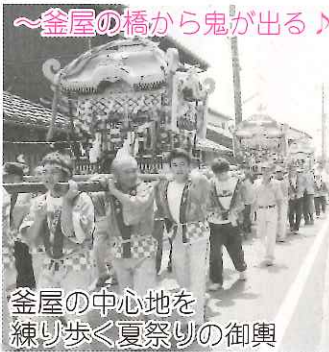


釜屋駐在員
小野清典さん

四季折々の風景

釜屋のためならと、各役員や青年会をはじめ皆さん協力的です。あと、春の桜並木、夏の碧い川・海、全てを金色に染める夕日、冬の厳しい日本海など、釜屋橋などから見える四季折々の風景は釜屋の自慢です。

人口 185人
世帯数 80戸
(平成18年3月末現在)
名所等 道の駅、釜屋橋から見える風景



釜屋（かまや）は、奈古の南端、郷川河口付近の両岸に位置する大きな集落で、人口、世帯数は東方に次ぐ多さ。11を数える班数は町1番です。昔、この地域では塩製造が営まれていました。御輿の担ぎ歌に「釜屋の橋から鬼が出るトホヤサッホヤサッ」という詞があるのですが、これ

は激しく沸騰する塩釜を「地獄の釜」に見変えて作詞したものといわれ、地区名の由来にもなっているそうです。温水プール横の郷川に、橋台と橋桁がアンバランスな橋道だった橋桁を、歩行者用の橋桁に架け替えたためです。

釜屋 Kamaya

釜屋の橋から鬼が出る？

地区自慢



上万駐在員
中原美一さんの
義弟・清水貞継さん

60・70歳は若い衆

うもれ木の郷や分教場など、上万は宇生賀の中心街。皆、親戚のような付き合いで、まとまりも良いし、お年寄りも元気。未だ80歳代の方がリーダーを務め、60～70歳は、まだまだ若い衆です。

人口 45人
世帯数 17戸
(平成18年3月末現在)
名所等 うもれ木の郷、梨畑大倉さんの花壇

黒川よりにある田の一角に、底が海につながっていると言われる池「上万猫池」があります。これは、昔から雨乞いの儀式に用いられている神秘的な池で、日本海の潮の干満に伴い、水面が上下すると言う伝説があるそうです。



4集落80haを一括管理する農事組合法人・うもれ木の郷



潮の干満があるといわれる神秘的な上万猫池

上万 Jouman

海とつながっている池？

上万（じょうまん）は、伊豆と黒川の中央に位置する集落です。

4集落80haの農地を一括管理する農事組合法人「うもれ木の郷」が事務所を構えるのも、ここ上万で、おいしいと評判の「うもれ木豆腐」もここで生産されています。

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

上片・黒川
55地区プラス1



上片 Kamikata

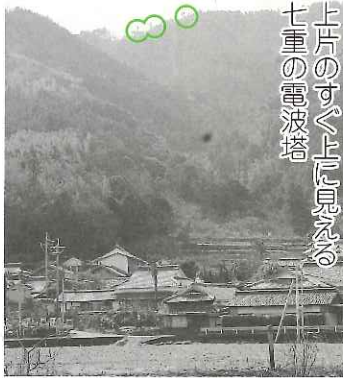
大井の七重はすぐ近く

上片（かみかた）は、美里団地から海よりの山裾に位置する集落です。

なだらかな丘陵地に家屋が建ち並び、最も高い位置にある家からは、奈古浦の町並みが一望できます。

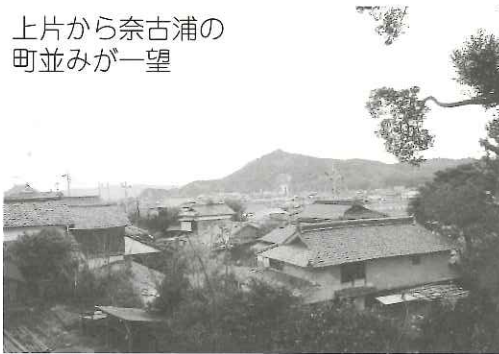
上片の家屋をくぐるように山方向に向かう細い道路があります。これは大井の七重と

上片のすぐ上に見える七重の電波塔



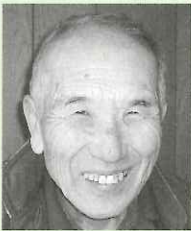
上片から奈古浦の町並みが一望

つながる道で、昔は奈古高や日本耐火工場（現ニッタイ）に徒歩で通う人もいたそうです。実は、上片から上七重の集落までの直線距離は約2kmと、筒尾よりも近いんです。



地区自慢

20年ぶりに赤ちゃんが生まれまして！
上片駐在員 案野和夫さん



最近一番の話題は、上片で20年振りに赤ちゃんが生まれたことで、集落全体の喜びであり自慢です。あと、上片にはイノシシを飼っている小屋があって、子どもたちの人気を集めているんですよ。

人口 32人
世帯数 13戸（平成18年3月末現在）
名所等 奈古地区簡易水道の配水池、ドコモの電波塔、池田さん家のイノシシ小屋

黒川 Kurogawa

町を代表する滝が多い

黒川（くろがわ）は、宇生賀盆地の西側に位置し、飯谷集落と隣接しています。

飯谷に向かう県道高佐下阿武線は、杉林をつづら折れに走る道路で、太陽光がいくつにも別れ地面を照らす光景は神秘的。また、黒川から飯谷に流れる宇生賀川には男滝（おんだき）や女滝（めんだき）



本光院

（き）など、町を代表する滝が数多く点在しています。黒川には不食の蛭（くわすのひいる）という七不思議があります。理由は分からないのですが、裸足で田に入っても黒川の蛭は食いつかないという伝説があるそうです。



女滝（めんだき）

地区自慢

町一番の梨作り農家数と町の名所が多い
黒川駐在員 黒川五郷さん



梨作りの農家数が町一番なのと本光院や滝など町の名所が多いことが黒川の自慢です。あと、不食の蛭伝説ですが、実は私らが子どもの頃は、よく食いつかれたもんですがね。本当に不思議です。

人口 35人
世帯数 14戸（平成18年3月末現在）
名所等 本光院、男滝、女滝、重ね岩、バクチ岩、七不思議伝説

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

下片・飯谷
55地区プラス1



下片 Shimokata

郷川のコイは病気に強い

地区自慢



下片駐在員
勝本 静人さん

近所が
助け合うこと

昔から人情が厚く、今でも近所が共に助け合い河川の清掃や田植えや稲刈りをしている。地区の祭としては小祭(4月と10月開催)がある。



郷川のコイ

下片(しもかた)は、美里団地から海よりの山裾に位置し上片と隣接する集落です。農家が多く昔は二毛作(夏季水稲、秋から春にかけて小麦、ビール麦)が行われていました。5月には郷川がよくはならん(端午水)していたそうです。夏になると水路にはウナギの姿も見えます。



淡水と海水が混じる片橋付近

片橋付近の郷川にはコイが放されていますが、この付近は淡水と海水が混じるためコイはコイヘルペスにかかりにくいと言われています。

人口 37人
世帯数 19戸(平成19年3月末現在)
名所等 奈古でも有数の肥えた田畑、郷川のコイ、竹炭、竹酢液、カルガモ親子(1~3月)

地区自慢



飯谷駐在員
片山 修一郎さん

職人が多く催しの時に頼りなる

兼業農家が多く、土地家屋調査士さんから大工、左官さんまで多種にわたる職人が多く、地域での催しの時は大変頼りになる。



ドウドウの滝

飯谷(いいだに)は、萩市(旧福栄村)との町境に位置する集落です。近くにドウドウの滝があります。集落全体に河川が走っており福賀でも有数の味の良い米が取れることでも有名です。2月には飯谷営農生産組合が設立され集落が地域農業を守る仕組みが出来ました。

飯谷 Iidani

福賀有数の良味米どじる



整備が進むあったか村

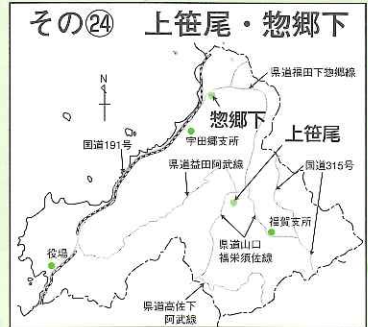
飯谷は知る人ぞ知る蜜の名所でシーズンにはいたるところで蜜の乱舞が見られます。分校跡地のイチヨウの木も秋には絶景のスポットです。飯谷の桑谷には、阿武町版「ダッシュユ村」のあったか村があります。

人口 56人
世帯数 25戸(平成19年3月末現在)
名所等 ドウドウの滝、分校跡地のイチヨウの木、蜜乱舞、あったか村、阿武町で一番牛の頭数が多い集落(14頭)

集落“再発見”
ふるさと

探訪！

上笹尾・惣郷下
55地区プラス1



地区自慢



元気で
働きの多い
上笹尾駐在員
小野善通さん

集落のまとまりが良いですね。
 専門農家が多く、お年寄りでも田畑で作業をされる働きの多い集落。合い言葉は「健康には野菜づくりが一番」です。月に1度は集会兼懇親会が行われ、八坂神社祭は11月に開催されます。

人口 48人
 世帯数 19戸
 (平成19年4月30日現在・住基)
 名所等 笹尾ふれあい市場、
 八坂神社

町で唯一のトマト栽培地帯



季節の野菜が集まる
笹尾ふれあい市場



整備された八坂神社

上笹尾(かみささお)は、阿武町の中央に位置し、県道山口福栄須佐線沿いを福賀の中心街より車で10分の集落です。
 豊かな田園風景が広がり阿武町で唯一のトマト栽培地帯

で畑作も盛んです。笹尾ふれあい市場は有名で、春夏は各種野菜、冬は漬物が並び、町の祭には必ず出店します。町外の業者と提携して山口市方面へ野菜などを出荷している農家も多くあります。

野菜市場地域1番店

上笹尾 Kamisasao

地区自慢



地域みんなが協力的
惣郷下駐在員
岩本 猛さん

惣和会を中心に、月に1度必ず地域活動をしています。恵寿苑の草刈り、神社の掃除、花壇の手入れ等、特に盆踊りは盛大に開催され世帯から1人は必ず参加します。最近では鶴惣工業の研修生が地域活動に参加してくれて助かっています。

人口 71人
 世帯数 28戸
 (平成19年4月30日現在・住基)
 名所等 御山神社、神宮山、
 岩戸神楽、鶴惣工業、
 惣郷鉄橋



熊野神宮飛霊の神といわれる御山神社



鉄道マニアのカメラスポット 惣郷鉄橋



数々の伝説が残る神宮山

惣郷下(そうごうしも)は、阿武町の北東に位置し、萩市(旧須佐町)との町境に隣接し、町の中心から15分ほどの所にある集落です。
 近くに神宮山や御山神社が

あり、現在でも地域で神事を大切に継承されています。神宮山は階段数1478段で全国3位、「黄金の馬伝説」や「北前船生還伝説」など神にまつわる話も多く残っています。

歴史と伝統を継承する地域

惣郷下 Sougoushimo

集落“再発見”

ふるさと

探訪！

下笹尾・水ヶ迫
55地区プラス1

その②⑤ 下笹尾・水ヶ迫



地区自慢

農業の
プロぞろい

下笹尾駐在員
白松靖之さん

集落に団結力がああります。専業農家が多く、その道のプロフェッショナルが多いです。みんな前向きに一生懸命に取り組まれているので活力があります。



ホウレン草のハウスは100棟ある

阿武町で最も野菜づくりの盛んな地域で、特に水と土にこだわったホウレン草は日持ちもよく栄養価も高いです。白菜は寒暖の差があるので甘みが強く、県内でも有数の産地になっています。

人口	47人
世帯数	14戸 (平成19年5月31日現在・住基)
名所等	手間ヶ谷のクロキ (祈りの木)、おならの墓、子安観音、樵屋、一次郎滝 (エンコ淵)
名産品	食味の良い米、ホウレン草、白菜、チンゲンサイ



手間ヶ谷のクロキ (祈りの木)

農家民宿「樵屋」

2月には笹尾営農生産組合が設立され、集落で地域農業を守るしくみが整いました。

水と土にこだわった野菜の産地

下笹尾 Shimosasao

地区自慢

年配の方々が
お手本

水ヶ迫駐在員
澤江 剛さん

若い世帯が多いですが、行事などがあるときは、年配の方々が手本を見せてくださったり、フォローしてくださるので大変助かっています。



水ヶ迫住宅全景
水ヶ迫集落となったのが昭和56年4月で、今年で26年目を迎えます。現在世帯数は56世帯で、阿武町で一番子どもの数が多い集落です(1歳児が6人いる)。若い世帯が多く地域に活力があります。

町で一番子どもが多い集落

水ヶ迫 Mizugasako



イカダ大会のチーム名、「ピンクハウス」の皆さん 若いお母さんの集まりです。

若いお母さん方に聞くと「近所の方が優しくて、子育てがしやすい」と話されました。



お母さんたちは子育て真っ最中

人口	146人
世帯数	56戸 (平成19年5月31日現在・住基)
有名人	イカダとCMで活躍中のピンクハウスメンバー

集落“再発見”
ふるさと

探訪！

美里・惣郷上
55地区プラス1



地区自慢



老若男女が
とけ込みやすい
環境づくり
美里駐在員
池田直樹さん

いろいろな地域からいろんな人が集まっているが協力的で団結力が強い。老若男女みんなとけ込みやすい環境を作っている。役員会は月に1度開催して集落の運営について話し合っています。

人口 99人
世帯数 29戸 (平成19年6月30日現在・住基)
名所等 美里児童公園、新しい美里花壇。
美里集落の水路にはウナギがいる。



えんじ色の屋根瓦が目印
美里団地



子どもたちの遊び場美里公園

美里(みさと)は、阿武町の南西に位置し、奈古地区の中心から車で3分の所にある町営住宅団地の集落です。えんじ色の屋根が目印になります。平成5年度に人口定住の促進を目的に建設され現在29世帯。地区内の美里児童公園は遊具が整備され、付近の子ど

もたちの遊び場になっており元気のよい声が聞こえます。若い世帯や子どもたちも多く奈古小学校では、美里の児童数が一番多くなっています。最近では、お父さんたちの集まり「さくら会」が結成され記念に美里公園に桜の木が植樹されました。

美里 Misato

児童数が一番多い集落

地区自慢



桂昌寺からの
眺めは最高
惣郷上駐在員
篠ノ好見さん

高齢者が多いが和気あいあいだなごやかな雰囲気、協力的で、行事の段取りは良い。「桂昌寺からの眺めは最高」、彼岸の時期は、水平線に夕日が沈む。一見の価値があります。

人口 46人
世帯数 21戸 (平成19年6月30日現在・住基)
名所等 白須タタラ製鉄遺跡、桂昌寺、白須川のコイのぼり、一斉ラジオ体操で健康づくり13人皆勤賞



夕暮れに鐘が鳴ります桂昌寺



地域コミュニティーの拠点
惣郷公民分館

惣郷上(そうごうかみ)は、阿武町の北東に位置し、萩市(旧須佐町)との町境に位置します。白須川の上流には、白須タタラ製鉄遺跡があります。萩藩の藩営製鉄所で国の史跡に指定されています。ま

た、分校だった惣郷公民分館は、地域コミュニティーの拠点となっております。物産会が月1度活動されています。

惣郷上 Sougoukami

公民分館はコミュニティーの拠点

集落“再発見”

ふるさと

探訪!

栃原・大刈名振
55地区プラス1

その②⑦ 栃原・大刈名振



栃原 Totibara

集団営農の拠点

地区自慢

みんながやる気があり積極的



栃原駐在員
常永 淳さん

集落のまとまりが良く、集会所や停留所の花壇整備や草刈り共同作業では、みんながやる気があり積極的に参加しているので助かっています。まつりごとには全員参加します。



みそぎの滝修行場



栃原地区の田園風景

栃原（とちばら）は、県道益田阿武線と山口福栄須佐線が交わる所にあります。農事組合法人阿武の郷の事務所があります。水稲、梨、干しシイタケ、タバコの栽培が盛んで最近では転作用として飼料用稲が栽培され発酵粗飼料として無角和種振興公社へ供給さ

れています。近くには、「みそぎの滝」があり県内外からお参りに来られます。栃原集落では結婚式には座りが良いというので「お地藏さん」を担いでいきましたが現在では酒樽を担ぐようになりました。

人口 40人
世帯数 16戸
(平成19年4月1日現在・住基)
名所等 阿武の郷事務所、
みそぎの滝

地区自慢

静かでのんびり暮らせる集落



大刈名振駐在員
茂刈育衛さん

高齢化が進んでいますが、みんな働き者で協力して頑張っています。静かでのんびりと暮らせる集落です。2月と4月には集落のお祭りが行われます。



大刈地区の田園風景



目の病気に御利益のある一畑薬師様

大刈名振（おおがりのなぶり）は、萩市（旧須佐町）との町境にあり国道191号線の大刈トンネルと小刈トンネルとの間から集落へ入ります。現在、世帯数は5世帯と町内で最も少ない集落です。田

んぼを囲むように集落が形成されており飼料用牧草が作付けられています。発酵粗飼料として無角和種振興公社へ供給されています。名振の一畑薬師様は有名で目の病気に御利益があるそうです。名振海岸は阿武町では最も長く、美しい海岸が続きます。

大刈名振 Oogariburi

阿武町の秘境!?

人口 9人
世帯数 5戸
(平成19年4月1日現在・住基)
名所等 一畑薬師様、
名振海岸

集落“再発見”
ふるさと

探訪!

新生・東方(岡田橋)
55地区プラス1

その②⑧ 新生・東方(岡田橋)



新生 Shinsei

ミヤマウメモドキが自生

新生(しんせい)は、県道山口福栄須佐線と福田下惣郷線が交わるところに位置し、福賀の中心地から車で5分ぐらゐの場所です。集落の中心を大井川が流れ、川に添って家屋が建ち並んでいます。集落の中心には砕石場があります。農

業では水稲が中心で良質の米が取れます。福田下惣郷線を下ると、県の自然記念物ミヤマウメモドキ群落が生じています。中国地方でもめずらしいということです。



ミヤマウメモドキ



採石場の風景

地区自慢

集落親睦旅行を
毎年開催

新生駐在員
木原哲也さん



集落のみなさんは協力的で仲も良く、毎年6月にバスを貸し切って集落親睦旅行に出かけます。今年で14年目となります。みんな楽しみにしています。

人口 28人
世帯数 14戸
(平成19年4月1日現在・住基)
名所等 山口県自然記念物ミヤマウメモドキ群落

地区自慢

遠くの親戚よりも、
近くの他人

岡田橋お世話人
岩森善晴さん(左)
と森崎巴代治さん



私が1ター先阿武町を選んだのは「空気が良い、風光明媚、人のあたりが良い」ところです。ここならやっていけそうな気がしました。

岡田橋に住んでみて「遠くの親戚よりも、近くの他人」という言葉を実感しています。

人口 13人
世帯数 6戸
(平成19年4月1日現在・住基)
名所等 阿武町ゲートボール場

東方(岡田橋)

Okadabashi

定住対策の拠点地域

岡田橋(おかたばし)は、奈古の中心地にあり奈古駅の南方に位置します。まだ行政区として独立していませんが、阿武町定住対策の拠点として町営住宅等の整備が進んで

います。近くには郷川が流れ春には菜の花、秋にはコスモスが川沿いに咲き町民の散歩コースとなっています。鴨や青サギなど野鳥類の姿も見えます。



新たに町営住宅を整備



郷川沿の風景